

2016 年度

中国留学報告書

留学先：北京師範大学

留学期間：8月29日（月）～1月7日（土）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21015077
多田未奈

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
	4 - 1 留学のスケジュール	4
	4 - 2 留学の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	7
	謝辞	7

付録

	留学日誌	8
--	------	---

1 留学先及び実習期間

研修先：北京師範大学 漢語文化学院

研修期間：平成 28 年 8 月 29 日（月）～平成 29 年 1 月 6 日（金）

※帰国は 1 月 7 日（日）

2 留学先概要

(1)大学について

北京師範大学は、中華人民共和国の北京という都市に位置する。北京は人口が 2015 年末時点で 2170 万 5000 人に達していて、中国の経済に大きな影響を与える都市の一つである。100 年以上の歴史があり、およそ 2 万 2000 人の学生が学んでいる、非常に大きな大学である。文系から理系まで非常に多くの学部を構え、あらゆる分野の研究を行うことができる。教育の分野が非常に強く、国家級（教育部直属）の六大師範大という中に含まれており、中国ではトップクラスの大学である。多種多様なサークルが数多くあり、自分の趣味に合ったサークルを簡単に見つけることができる。中には留学生交流サークルもある。さらに数々の著名人を輩出し、中国の中ではかなり有名な大学に成長した。

(2)大学で行われている教育について

北京師範大学は、質の高い教育を行っていることと、多くの留学生を受け入れていることに特徴がある。1 クラスの人数は大きくなりすぎないように 20 人程度と配慮がなされており、充実した環境の中で学習を行うことができる。今回お世話になる漢語文化学院は、中国語を母語としない学生に中国語の教育を行うものである。初級者から上級者まで多くのレベルに分けられており、中国語が苦手な学生も基礎からしっかり学習することができる。一番低いクラスでは発音、簡単な読み書きなどから始まる。

3 留学目的

今回の研修の目的は、日常会話能力の向上、文化交流、**HSK**（汉语考试水平）のスコアを確実に上げることである。普段大学で学んでいる週三回の中国語の授業と自主学習だけでは、将来社会に出た時にその成果を十分に発揮できないと感じた。現在、日本の企業で中国語を用いた職につくには、日本人だけでなく、「日本語を話せる中国人」と競わなければならなくなってきている。日本にも日本語を勉強しようと多くの中国人が留学に来ているのだ。そして彼らは初等教育から日本人より英語を学んでいるので英語も話せることが多い。

そこで中国語能力をまずは向上させるために、**HSK** の 4 級（広範囲の話題について会話ができる程度）の取得を目指す。それからさらに上の 5 級を受けるための学習にも取り組む。**HSK** とは、中国政府教育部（日本の文部科学省に相当）が公認する資格で、世界中で公的証明として活用することができ、日本国内の企業の採用条件、昇進や中国現地法人での勤務の条件などとして選ばれている。

日常会話をスムーズに行えるようにするため、日本語を勉強しているランゲージパートナー

ナーを探し、お互いの文化を知り合っていく中でよい関係を築き上げ、親密な交流をすること。これらを目標とし、今回の留学に臨んだ。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	午前	午後
8	29 (月)		到着、入寮
	30 (火)	新入生登録	
	31 (水)		
9	1 (木)	Wi-Fi 使用登録	新入生クラス分けテスト
	2 (金)	入学式	
	3 (土)		クラス発表
	4 (日)	テキスト購入	
	5 (月)	授業開始	
	9 (金)		日中交流会
	15 (木) ~ 18 (日)	中秋節 (休暇)	
10	1 (土) ~ 10 (月)	国慶節 (休暇)	
	22 (土)		日中運動会
11	3 (水)	中間テスト	
	4 (木)	中間テスト	
	5 (土) ~ 10 (木)	研修旅行 河南省	
	12 (土)	北京の夜 予選	
	13 (日)	留学生文化交流節	
12	18 (日)		北京の夜
	29 (木)	期末テスト	
	30 (金)	期末テスト	
1	6 (金)	卒業式	
	7 (土)	帰国	

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)新入生クラス分けテスト

中国語のレベルをはかり、結果が分かった後クラスごとに分けられる。筆記試験と口頭試験の二つがある。

ii)入学式

校内の施設へ行き、入学式が行われる。サークルの紹介、中国での生活の注意点などが案内される。すべて中国語で話されるため国際情報大学の世話役である中国人の方に翻訳していただきながら説明を聞いた。2, 3時間で終了する。

iii)日中交流会

日本語学科の様々な学年の人たちが国際情報大学のために開いてくれる日中交流会。5,6グループに分けられ1グループ 6,7人でお菓子を食べながら会話をする非常に楽しい会だった。中国語で日本のクイズを出し、歌を歌い、彼らは私たちのために歌やダンスを披露してくれた。交流会の後も友達と各々食事に行ったりすることができる。

iv)中秋節

中秋節の日に家族で団欒の食事をして、月餅を食べながら月見をするという風俗習慣がある。そのため学校は休暇となり、旅行にいたり休息をとったりすることができる。

v)国慶節

中華人民共和国の建国記念日で国祭日である。中秋節と同じように授業がないため出かけたり休息をとることができる。

vi)日中運動会

師範大の日本人と主に日本語学科の中国人が交流するために開かれる運動会。当日は日本語も話せる韓国人も参加したりと和気あいあいとした。運動ができない人でも参加できるような楽しい競技ばかりで楽しめた。

vii) 中間テスト

留学生のテスト科目は、听力（リスニング）、会話（スピーキング） 读写（リーディング）の三つであり、会話と读写は筆記テスト、听力はリスニング問題が出される。会話はテスト期間前に授業内で習った文法や用語などを用い文章を作って話すスピーキングのテストがある。

viii) 研修旅行 河南省

費用はほぼ学校負担で格安で河南省旅行をたのしむことができた。毎年旅行先は異なり、今回は河南省だったが去年は四川省だったようだ。クラスごとの班に分かれて行動するのでクラスメイトとより仲良くなれた。少林寺など、観光地を回った。

ix) 留学生文化交流節

大学のメインビルディング内で大学に在籍する国の学生がそれぞれの文化を屋台形式で披露する。日本人はお好み焼きや射的ができるブースを作った。各国の民族衣装が見れたり食事ができたり非常ににぎやかだった。

x) 北京の夜

大学内の体育館で開かれる留学生が伝統的な歌や踊りを披露する大きなイベント。予選で通れば本番で披露できる。日本人は沖縄の伝統的な踊り「エイサー」を踊り、日本人内でも強い絆が生まれた。照明や音楽も本格的なステージで発表である。

xi) 期末テスト

中間テストを同じような形式で行われる。期末テストが終わればすべての授業も終了し残るは卒業式を待つのみになる。

xii) 卒業式

会場へ行き記念ビデオを見た後成績書と卒業証明書を受け取り終了となる。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 日常会話能力の向上

授業開始初日や、中国人学生と交流して間もないころの会話能力は非常に低かった。挨拶、簡単な会話や考えを発言するのが精いっぱい常に緊張し、おぼつかなかった。帰国するころには、中国人の友人をご飯に誘え、冗談を言い合い、夢を話し合い、お互いのプライベートな話や悩み相談に乗れるくらいに上達し、友人にもすごく上達したと褒めら

れるくらいのレベルに到達できた。中国人の仲間だけではなく韓国人の友人と二人で遊びに出かけたりもできた。会話能力は大きく向上した。

ii) 文化交流

文化交流できる機会は多くある。まず、留学生交流サークルに参加すること。SAIN というサークルでは在籍している国の留学生が自身の国について紹介しゲームなども行い交友を深めることができる。日本を紹介したり、中国、韓国などの文化に触れられる。文化交流節では大学に在籍しているすべての国の学生がその国独特の食べ物や装飾品を屋台形式で紹介し、学生が思い思いに文化交流楽しむことができる。

iii) HSK (汉语考试水平) のスコアを確実に上げること

12月にHSKの4級を受験した。校内の売店で、中国語で書いてある対策本を購入し勉強に励んだ。9月から授業が始まり基礎が固まるころの12月であれば合格できると言われ受験したが無事4級を合格することができた。

iv) ランゲージパートナーを見つける

日中交流会で初めて会話をした日本語学科の中国人の同い年の女の子が初めての友達だった。彼女はいろいろな場所を案内してくれ、文化を教えてくれ、学校内のイベントにも二人で参加し、言語を教えあい、食事に行き、たくさんの思い出を作ることができた。これからも彼女は大切なランゲージパートナーである。

6 反省・課題

四ヶ月という短い研修であったが、非常に多くのことを学ぶことができ、有意義な留学となった。

私は留学を延長し、来学期も引き続き北京師範大学で学ぶが、日々の積み重ねを怠らないよう勉強を続けていきたい。さらに、異文化に対する理解を深め、様々な物事を世界的な視点から考えることを大切にしていきたい。

謝辞

今回、北京師範大学にて懇切丁寧な指導やお手伝いをしてくださった何玲玲さん、そして現地で日本人を支えてくれた日本人会の皆さま、北京師範大学で指導してくださった多くの先生、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の夏期セミナー担当で2016年度前期の授業、現地サポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、佐藤若菜先生、區建英先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、留学参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録：研修日誌

8月29日 月曜日 午前
出発 0830 新潟駅
内容 ・新潟駅から上野駅まで新幹線で移動、京成上野駅まで歩く ・京成スカイライナーに乗り成田空港駅まで移動 ・成田空港から北京まで飛行機で移動 ・北京へ到着 ・玲玲さんと会う

移動の所感

飛行機で約3時間の移動。朝出発し夜6時過ぎに到着し疲れたが翌日も忙しいので、明日から始まる授業や様々な活動を頑張っていきたい。

8月30日 火曜日
新入生登録
場所 留学生办公室
内容 ・新入生登録

内容および所感

朝から玲玲さんに食堂を案内してもらい、朝食をとる。そのあと留学生办公室（事務室）へ行き登録手続きを済ませる。パスポートとビザ、海外保険証などを提出し、学生情報を事務室の先生に話しパソコンで記入してもらい。日本語が話せる先生だったのでそんなに難しくはなかった。それから広いキャンパス内を案内してもらいとても疲れた。学生カードは来てすぐかこの日に受け取る。後から知ったことだが師範大学より清華大学や語言大学の方がキャンパスが広くて驚愕した。

9月1日 木曜日 午前
Wi-Fi 使用手続き、クラス分けテスト
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生カードを持ちネットやカード手続き専門の施設へ向かう ・カードに現金をチャージする ・一か月分のネット料金を支払い完了

内容および所感

中国に来てからインターネットが使えず連絡がとれないままなので早速手続きに行った。やり方は玲玲さんや佐藤先生に付いてもらって分かった。携帯で使えるようになってから各自パソコンを持って集まりパソコンの設定も行った。

午後からは新入生のクラス分けテストがあり筆記試験と口頭試験があった。口頭試験担当教師がとても優しくてリラックスして話せた。

9月2日 金曜日 午前
入学式
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の注意 ・学校の紹介 ・サークル、ボランティア団体の紹介

内容および所感

聞き取れなかったが玲玲さんが後から日本語に翻訳して教えてくれた。交通についての説明や学校の案内、寮の案内などが説明された。ボランティア団体の説明の中で日本人会の紹介があり、そこで初めて日本人会の存在を知った。

9月3日 土曜日 午前
クラス発表
場所 第一寮
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの確認

内容および所感

師範大学には留学生向けにいくつか寮があり、クラス発表は第一寮まで行って見た。寮に入ると掲示板に結果が貼られているのが確認できるので自分のクラスと時間割を

撮って確認。101-3 班だった。私のほかに二人国際情報大学の友達がいた。

9月5日 月曜日
場所 教二楼
内容 ・授業開始 ・自己紹介 ・会話、读写，报刊

内容および所感

クラス内には日本人、韓国人、イギリス人、イタリア人、フィンランド人、タジキスタン人、モンゴル人、コロンビア人がいた。隣に座った韓国人と初めて会話し、とても緊張した。先生はゆっくり話すので全く聞き取れないわけではないが、理解できない部分が多くて悔しかった。报刊の授業では授業の説明がされ、毎週担当生徒が記事を用意し、要約と考えを発表し、記事内容の問題をみんなで考えるように言われた。

9月7日 水曜日
場所 教二楼 教四楼
・中日文化交流

内容および所感

今日のはじめて中日文化交流という授業が始まる日だった。先生は日本が本当に上手で日本人だと言われても信じてしまうほどだった。基本的には院生の学生さんが日本と中国に関係していた歴史の偉人を紹介し、宿題で生徒が中国語でその偉人についての文を5文作り暗記するという易しい授業だった。テストも6人の偉人の5文を暗唱するという内容で毎回毎回楽しい授業だった。

9月8日 木曜日
場所 主楼前広場
内容 ・太極拳

具体的内容および所感

太極拳の授業がこの日から始まった。先生は全く日本語の話せない体育学科の学生だったがとても朗らかな先生で毎週授業は楽しかった。準備運動をしてから太極拳の

基本の動作や構えを教えてもらった。

9月9日 金曜日 午後
場所 主楼
内容 ・日中交流会

内容および所感

この日は玲玲さんや北京師範大学の日本語学科の人たちが私たちのために交流会を開いてくれた。留学出発前から交流会のことは知っていたので事前に出し物の準備をしていた。集合場所まで行くと、みんな歓迎してくれ、いくつかのグループに分けられお菓子を食べながら日本語と中国語を交えて会話をした。みんな熱心な生徒だった。日本語の分からないところを聞かれたり、中国の観光名所などを教えてくれたりした。楽しい交流会だった。

11月3,4日 水、木曜日
場所 化学楼 生地楼
内容 ・中間テスト ・会話 读写 听力 报刊 中日文化交流

内容および所感

難易度はとても難しいというわけではない。きちんと復習して教科書を確認しておけば高得点をとれるくらいだ。会話、读写は筆記、听力はリスニング問題、报刊も筆記で中日文化交流は暗唱のテストと筆記テストがあり二週に分かれている。

11月5~10日 土~木曜日
場所 河南省 研修旅行(修学旅行)
研修内容 ・5日 出発、寝台列車 ・6日 登封、漯河 少林寺観光 ・7日 漯河 小学校見学 ・8日 漯河 森林公園、河上街観光 ・9日 漯河、开封 开封府観光 ・10日 开封、安阳、学校 中国文字博物館観光

11月13日 日曜日
場所 主楼
内容 ・留学生文化交流節

内容および所感

この日は留学生が国の文化を伝える文化交流節だった。文化祭のようなもので、屋台を出したり踊りを披露したりもする。日本は北京の夜で踊るものと同じ踊りを踊り、チョコバナナとお好み焼きと射的の屋台を出した。ほかの国の屋台を回るのがとても楽しかった。

12月29,30日 木、金曜日
場所 生地楼 教二楼
内容 ・期末テスト ・会話 读写 听力 报刊 中日文化交流

内容および所感

期末テストの方法、実施場所など中間試験の時とほとんど変わってない。最後のテストなのでしっかり勉強をして臨んだ。

1月6日 金曜日 午後
内容 ・卒業式

内容および所感

授業もすべて終了し卒業式。会場に向かい先生たちの話を聞いて記念ビデオを見た後、成績書と記念の冊子や証明書をもらい会場を後にした。そのごは大急ぎで帰国の準備をして翌日の出発に備えた。



北京の夜
太極拳授業風景



开封府

